

## はじめにお読みください

本機を使用する前に必ずこのマニュアルをお読みください。このマニュアルは、読み終わったあとも必ず保管してください。

- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OSのバージョンによって異なることがあります。

### 本製品のマニュアルについて

本製品のマニュアルは公式サイトでご覧になれます。  
インターネットサービスプロバイダーの利用費や通信費はお客様負担となります。  
モバイル端末でQRコードを読み取るか、Web ブラウザーから次にアクセスしてください。  
<https://www.fujifilm.com/fb/support>  
検索バーで、お使いの機種名を検索してください。



### 本機をお使いになる際に

管理者暗証番号は、本機の設置後すぐに変更することをお勧めします。

6d 参照

- 設定方法については、『操作ガイド、および取扱説明書（管理者用）』の「管理者暗証番号を変更する」を参照してください。

# 安全にご利用いただくために

本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。

お買い上げいただいた商品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。




コピー機、パソコン/ディスプレイ/写真プリンター/領収書プリンターの順に記載しています。

## ■ コピー機








### ⚠ 警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、担当のサービスセンターにお問い合わせください。

各警告図記号は次のような意味を表しています。

	<b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
	<b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容、および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△ 記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。

					
注意	静電気 破損注意	発火注意	破裂注意	感電注意	高温注意
					
回転物注意	指挟み注意		回転部注意		
					
鋭利部注意					

⊘ 記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。


			
禁止	火気禁止	接触禁止	風呂等での 使用禁止
			
分解禁止	水ぬれ禁止	ぬれ手禁止	

● 記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

		
指示	電源プラグ を抜け	アース線を 接続せよ


# 電源、およびアース接続時の注意


## ⚠ 警告


 万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため本機の後方から電源コードとともに出ている緑色のアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。


- 電源コンセントのアース端子
  - 銅片などを850mm以上地中に埋めたもの
  - 接地工事 (D種) を行っている接地端子
- アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず、電源プラグを電源から切り離してから行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社の故障受付センターにご相談ください。
- 次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。


- ガス管 (引火や爆発の危険があります。)
  - 電話専用アース線、および避雷針 (落雷時に大量の電流が流れる場合があります。)
  - 水道管や蛇口 (配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)
- アースとの接続が不十分な場合、感電の原因となるおそれがあります。


 万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、本機にはD種以上の接地工事を必ず実施してください。


 電源コードは、本機近くのアースが確実に取れる電源コンセントに、単独で差し込んでください。延長コードは使わないでください。たこ足配線をしないでください。発熱による火災の原因となるおそれがあります。電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社の故障受付センターにご相談ください。

 本機の定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。本機の定格電圧値および定格電流値は、本機背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。

 電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。

 電源コードにものを載せないでください。

 電源プラグや電源コンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などによって表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

 同梱、または弊社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。発火、感電のおそれがあります。また、これら電源コードをほかの機器に使用しないでください。電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。電源コードが傷んだら (芯線の露出、断線)、弊社の故障受付センターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。

## ⚠注意

- ❗ 本機の電源を完全に切るためには電源コンセントから電源プラグを抜く必要があります。緊急時に容易にプラグを抜くことができるよう、本機は電源コンセントの近くに設置してください。
- 🔌 本機の清掃を行う場合は、電源を切り、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電源を切らずに本機の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。
- 🚫 本機の電源を入れたままで電源コンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。アークによって電源プラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。
- ❗ 電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。
- 🔌 連休などで長期間、本機を使用しないときは、安全のために電源を切り、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。
- ❗ 1か月に一度は本機の電源を切り、次のような点検をしてください。
  - 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか
  - 電源プラグに異常な発熱、およびサビ、曲がりなどはないか
  - 電源プラグや電源コンセントに細かいホコリが付いていないか
  - 電源コードにきれつや擦り傷などがないか異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。その後、弊社の故障受付センターにご連絡ください。

## 設置時の注意

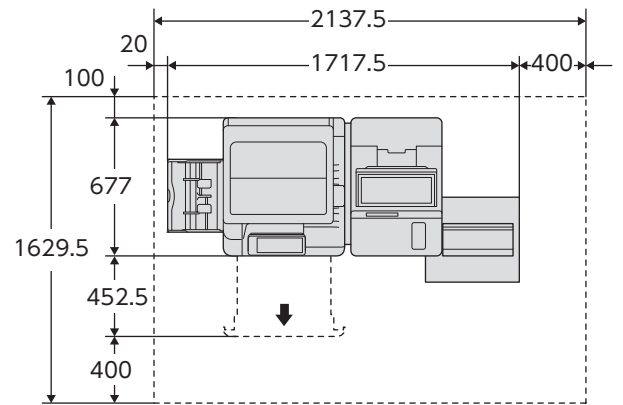
### ⚠警告

- ❗ 本機は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

### ⚠注意

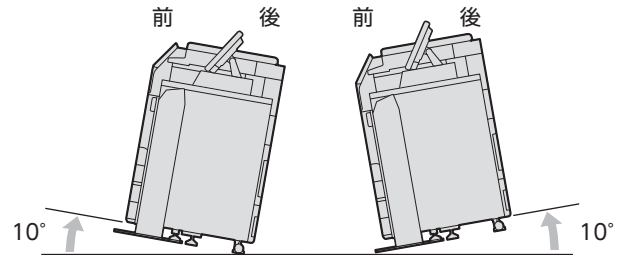
- 🚫 次のような場所には、本機を設置しないでください。
  - 発熱器具に近い場所
  - 揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
  - 高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
  - 直射日光の当たる場所
  - 調理台や加湿器のそばなど
- 🚫 本機の包装に使用している袋、シートは幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ、窒息するおそれがあります。
- ❗ 本機は、付属製品を含めた総質量198.5 kgに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。本機の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

- ❗ 本機には通気口があります。本機の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。本機を安全に正しく使用し、本機の性能を維持するために、次の設置スペースを確保してください。また、本機の異常状態によっては、電源プラグを電源コンセントから抜くことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。



(単位:mm)

- ❗ 本機を10°以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。



- ❗ 本機を設置したあとは、キャスターに付いている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、本機が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。
- ❗ 本機の電線やケーブルを束ねるために、ケーブルタイやスパイラルチューブ等を使う場合は、弊社から提供される部品をご利用ください。弊社の提供品以外の部品のご使用は事故の原因となる場合があります。

## 機械使用上の注意

### ⚠警告

- 🚫 マニュアルに明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。
- 🚫 本機はお客様が危険な箇所には触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります。





次のようなときにはただちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。その後、弊社の故障受付センターにご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

- 本機から発煙したり、本機の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- 本機の内部に水が入ったとき
- 本機が水をかぶったとき
- 本機の部品に損傷があったとき



本機の隙間や通気口に物を入れないでください。また、次のものは、本機の上に置かないでください。

- 花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- クリップやホチキスの針などの金属類
- 重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと本機の内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。



本機の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。



複数の用紙トレイを同時に引き出すと、不意に本機が押された場合に本機全体が傾き、転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。用紙トレイを引き出す場合は、必ず一段ずつ引き出して使用してください。



用紙トレイを引き抜いて紙詰まり処理を行う場合には、弊社の故障受付センターにご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。



付属のメディア（CD-ROM、DVD等）をメディア対応機器以外では絶対に使用しないでください。高音響により耳に障害を負ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

### △注意



本機に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。特に「高温注意」「感電注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。



本機の安全スイッチを無効にしないでください。本機の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。本機が作動状態になる場合があります。ケガや感電の原因となるおそれがあります。



本機の内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源を切り、弊社の故障受付センターにご連絡ください。



書籍などの厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。



本機を移動するときは、弊社の故障受付センターにご連絡ください。



換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にコピーやプリントすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。

## 消耗品取り扱い上の注意

### △警告



消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。



こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。本機内およびトナーカートリッジ、トナー回収ボトル等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。大量にこぼれた場合、弊社の故障受付センターにご連絡ください。



トナーカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ず弊社の故障受付センターにご連絡ください。



トナー回収ボトルは、絶対に火中に投げないでください。トナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナー回収ボトルは、弊社にて回収いたしますので、必ず弊社の故障受付センターにご連絡ください。

### △注意



ドラムカートリッジやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。



ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。



次の事項に従って、応急処置をしてください。

- トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
- トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

# ■ パソコン / ディスプレイ / 写真プリンター / 領収書プリンター




本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。

お買い上げいただいた商品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

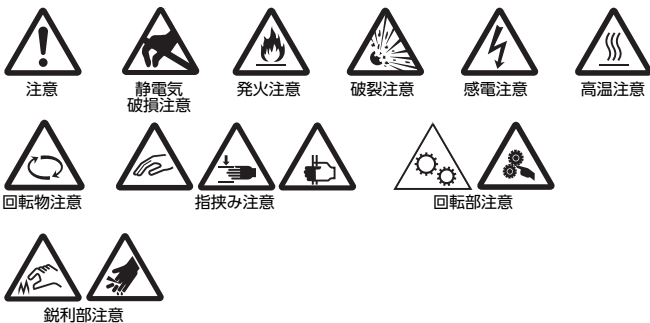
## ⚠ 警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、担当のサービスセンターにお問い合わせください。

各警告図記号は次のような意味を表しています。

	<b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
	<b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容、および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△ 記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。



⊘ 記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。



● 記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。



# 電源、およびアース接続時の注意

## ⚠ 警告



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため本機の後方から電源コードとともに出ている緑色のアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを850mm以上地中に埋めたもの
- 接地工事 (D種) を行っている接地端子

アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず、電源プラグを電源から切り離してから行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社の故障受付センターにご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管 (引火や爆発の危険があります。)
- 電話専用アース線、および避雷針 (落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。)
- 水道管や蛇口 (配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)

アースとの接続が不十分な場合、感電の原因となるおそれがあります。



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、本機にはD種以上の接地工事を必ず実施してください。



電源コードは、本機近くのアースが確実に取れる電源コンセントに、単独で差し込んでください。延長コードは使わないでください。たこ足配線をしないでください。発熱による火災の原因となるおそれがあります。電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社の故障受付センターにご相談ください。



本機の定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。



電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。



電源コードにもものを載せないでください。



電源プラグや電源コンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などによって表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



同梱、または弊社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。発火、感電のおそれがあります。また、これら電源コードをほかの機器に使用しないでください。電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。電源コードが傷んだら (芯線の露出、断線)、弊社の故障受付センターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。



リチウム電池を取り外さないでください。装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。リチウム電池を取り外さないでください。リチウム電池は火に近づけたり、水に浸したりすると、破裂するおそれがあります。





ぬれた手で電源プラグを持たない  
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。電源をOFFにしても電源コードを接続したまま、ぬれた手で装置に触ると感電するおそれがあります。



プラグを差し込んだままケーブルの取り付けや取り外しをしない  
インターフェイスケーブルの取り付け／取り外しは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

### △注意



本機の電源を完全に切るためには電源コンセントから電源プラグを抜く必要があります。緊急時に容易にプラグを抜くことができるよう、本機は電源コンセントの近くに設置してください。



本機の清掃を行う場合は、電源を切り、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電源を切らずに本機の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。



本機の電源を入れたままで電源コンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。アークによって電源プラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。



連休などで長期間、本機を使用しないときは、安全のために電源を切り、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。



1か月に一度は本機の電源を切り、次のような点検をしてください。

- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか
  - 電源プラグに異常な発熱、およびサビ、曲がりなどはないか
  - 電源プラグや電源コンセントに細かいホコリが付いていないか
  - 電源コードにきれつや擦り傷などがないか
- 異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。その後、弊社の故障受付センターにご連絡ください。



インターフェイスケーブルを接続するときは、必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。



インターフェイスケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。



電源プラグを奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まれていないと、火災・感電の原因になることがあります。



雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源プラグを抜く前に、雷が鳴り出したら、ケーブル類を含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。



指定以外のコンセントに差し込まない  
AC100V、50Hzまたは60Hzの電源コンセントに接続して使用ください。指定以外の電源を使うと、火災や感電の原因になります。

また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本装置の電源仕様に合っていないコードを接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。



中途半端に差し込まない  
電源コードやインターフェイスケーブルは、根元まで確実に差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。



ケーブル部分を持って引き抜かない  
ケーブル部分を抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。



指定以外の電源コードは使わない  
電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。また、電源コードの破損による感電や火災の防止をするために次の注意をお守りください。

- コード部分を引っ張らない
- 電源コードを折り曲げない
- 電源コードをねじらない
- コードを束ねない
- 電源コードをステーラ等で固定しない。
- 電源コードをはさまない
- 電源コードに薬品をかけない
- 電源コードにものを載せない
- 電源コードを改造、加工、修復しない



指定以外のインターフェイスケーブルを使用しない  
インターフェイスケーブルは、指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。また、インターフェイスケーブルの取り扱いや接続については次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタやケーブルは使用しない
- ケーブルを踏まない
- ケーブルの上にもものを載せない
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない

### 設置時の注意

#### △警告



本機は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。



タッチパネルディスプレイを移動する場合は、電源プラグや機器間の接続線はずしたことを確認のうえ、移動してください。接続線をつけたまま移動すると、コードに傷がつき、火災・感電の原因になることがあります。

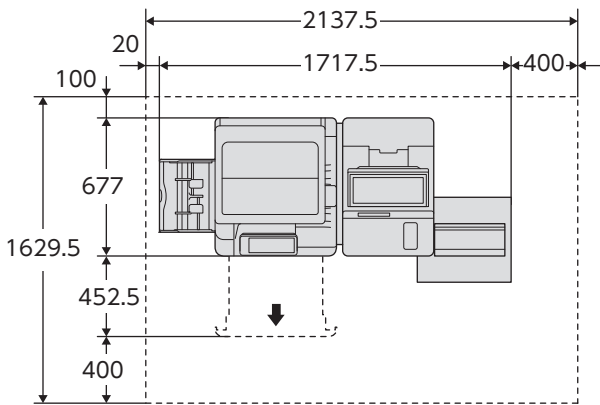


タッチパネルディスプレイの通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。次のような使いかたはしないでください。

あお向け・横倒し・逆さまにする、押入れや本箱などの風通しの悪い狭いところに押し込む、ジュタンや布団の上に置く、テーブルクロスをかける。

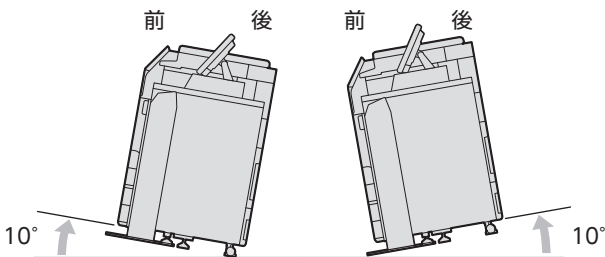
## △注意

- 次のような場所には、本機を設置しないでください。
  - ・発熱器具に近い場所
  - ・揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
  - ・高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
  - ・直射日光の当たる場所
  - ・調理台や加湿器のそばなど
- 本機の包装に使用している袋、シートは幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ、窒息するおそれがあります。
- ! 本機は、付属製品を含めた総質量198.5 kgに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。本機の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。
- ! 本機には通気口があります。本機の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。本機を安全に正しく使用し、本機の性能を維持するために、次の設置スペースを確保してください。また、本機の異常状態によっては、電源プラグを電源コンセントから抜くことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。



(単位:mm)

- ! 本機を10°以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。








- ! 本機を設置したあとは、キャスターに付いている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、本機が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。
- ! 本機の電線やケーブルを束ねるために、ケーブルタイやスパイラルチューブ等を使う場合は、弊社から提供される部品をご利用ください。弊社の提供品以外の部品のご使用は事故の原因となる場合があります。

## 機械使用上の注意









### △警告


- マニュアルに明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。
- 本機はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります。
- 次のようなときにはただちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。その後、弊社の故障受付センターにご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。
  - ・本機から発煙したり、本機の外側が異常に熱くなったとき
  - ・異常な音やにおいがするとき
  - ・電源コードが傷ついたり、破損したとき
  - ・ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
  - ・本機の内部に水が入ったとき
  - ・本機が水をかぶったとき
  - ・本機の部品に損傷があったとき
- 本機の隙間や通気口に物を入れないでください。また、次のものは、本機の上に置かないでください。
  - ・花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
  - ・クリップやホチキスの針などの金属類
  - ・重いもの液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと本機の内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 本機の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。
- 付属のメディア (CD-ROM、DVD等) をメディア対応機器以外では絶対に使用しないでください。大音響により耳に障害を負ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。
- タッチパネルディスプレイの通風孔などから、金属類や燃えやすいものなどを入れたり、落とし込んだりしないでください。また、水などの液体がかからないようにしてください。故障・火災・感電などの原因になります。特にお子さまにご注意ください。
- タッチパネルディスプレイが破損した場合には、本製品の使用を中止してください。火災・感電の原因になります。
- タッチパネルディスプレイの可動部への注油は行わないでください。モニター内部に入ると、故障・火災の原因になります。
- 煙や異臭、異音がしたまま使用しないでください。発煙や異臭などの異常が発生した場合、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用または放置すると、火災、感電の原因となります。
- 本装置の設置にあたっては、装置近傍のコンセントから電源を取り、緊急時にはコンセントへ容易にアクセス出来るように配慮ください。なお、装置の電源を緊急に切断した場合、データなどが壊れることがあります。





-  装置が故障したまま使用しないでください。装置が正常に動作しない、ディスプレイの画面が映らない、各表示ランプが正常に点灯しないなどの故障した状態で使用しないでください。故障したままで使用すると火災・感電の原因となります。
-  針金や金属片を差し込まないでください。隙間から金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。
-  装置の上に物を載せない  
重量物を装置の上に載せないでください。装置が倒れて周辺の機器や商品に損害を与えるおそれがあります。
-  自分で分解・修理・改造はしない  
絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置または装置内のその他の箇所についても、正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災のおそれがあります。
-  アジャストフットおよび複写機との連結は絶対に外さない  
本装置はアジャストフット及び複写機と連結して固定されます。アジャストフット及び複写機と連結は絶対に外さないでください。また、操作中のガタつくなどの不安定を感じた場合や固定されていない場合はそのまま使用しないでください。そのまま使用すると、装置の移動や転倒により、けがや故障の原因になります。


### ⚠注意


-  本機の安全スイッチを無効にしないでください。本機の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。本機が作動状態になる場合があります。ケガや感電の原因となるおそれがあります。
-  海外で使用しないでください。  
本装置は日本国内専用の装置です。海外では使用できません。  
この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。
-  水没したときは使用しないでください。  
製品が災害などで水没したときは使用しないでください。  
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
-  本機の内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。特に、ローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源を切り、弊社の故障受付センターにご連絡ください。
-  本機を移動するときは、弊社の故障受付センターにご連絡ください。
-  機械の上に重いものを載せたり、ひじをついたりしないでください。破損しケガをする原因となるおそれがあります。
-  「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。  
タッチパネルディスプレイ面を固いものでたたいたりして衝撃を加えないでください。破損してけがの原因になることがあります。
-  内部にほこりがたまったらそのまま使うと、火災や故障の原因になります。内部清掃は所定の連絡先にご依頼ください。


-  人命や高度な信頼性を必要とする業務には使用しないでください。本装置は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損失などが生じて、弊社はいかなる責任も負いかねます。


-  タッチパネルディスプレイにはプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナーなどでふくと変質したり、塗料がはげる原因となります（化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。）また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットが変色したり、変質するなどの原因になります。


-  タッチパネルディスプレイのお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。


-  使用時および電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクドライブなどをはじめ装置内の部品が高温になっています。絶対に分解したり、修理・改造しないでください。


-  本装置の動作中は背面にある冷却用ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをすることがあります。


-  扉開状態での操作について  
扉を開けている状態で作業等する場合は、頭と接触しないようにしてください。勢いよく当たるとけがをすることがあります。

-  扉を閉める操作について  
扉を閉める際は、手をはさまないようにしてください。けがをすることがあります。


-  液晶ディスプレイの取り扱い  
液晶パネルが破損し、液晶が漏れ出た場合は液晶を吸い込んだり、飲んだりしないでください。中毒を起こすおそれがあります。誤って破損してしまい、万一、口に入ってしまった場合は、すぐにうがいをして医師の診断を受けてください。眼に入ってしまったら皮膚についてしまった場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して医師の診断を受けてください。衣類についてしまった場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。


-  ユニット引き出し時について  
領収書プリンター、写真プリンター搭載部及びコインキャッシャーの引き出しと押し込みは、勢いをたえずゆっくり行ってください。装置を破損したり、けがをすることがあります。操作が重くなる、異音が出る、傾くなどの異常を感じた場合は、そのまま使用しないでください。


-  領収書プリンターの刃にさわらない  
領収書プリンターの刃にさわらないでください。けがのおそれがあります。


-  複数ユニットの同時引き出しはしない  
領収書プリンターおよび写真プリンター搭載部は同時に引き出さないでください。複数ユニットの同時引き出しは手をはさまれたり、本装置が移動／転倒し、けがや故障の原因になります。





 ユニットを引き出した状態で寄りかからない  
領収書プリンター、もしくは写真プリンター搭載部  
を引き出した状態で、寄りかからないでください。  
引き出した状態でよりかかると、転倒による事故や  
けがのおそれがあります。


 写真プリンター搭載部の引き出しについて  
写真プリンター搭載部の引き出しを行う際には本装  
置が複写機に連結されており、アジャスターフット  
が床面まで降ろされていることを確認してくださ  
い。  
また、アジャスターフットおよび複写機と連結固定  
されていない場合には写真プリンター搭載部のトレ  
イを引き出さないでください。  
本装置が移動／転倒し、けがや故障の原因となりま  
す。

 電源再投入する際の注意  
本装置の電源再投入する際は本体の電源ランプ消灯  
後、少なくとも10秒以上の間隔を開けてから電源  
を入れてください。

 アジャストフット及び複写機との連結固定なしで写  
真プリンター搭載部の引き出しはしない  
本装置がアジャストフットおよび複写機と連結固定  
されていない場合に写真プリンター搭載部を引き出  
すと装置が転倒するおそれがあり、けがや故障の原  
因になります。装置が固定されていない状態で、写  
真プリンター搭載部の引き出しは、絶対に行わない  
でください。


 腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない  
腐食性ガス（二酸化炭素、硫化水素、二酸化窒素、  
塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境に  
設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気  
中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄な  
ど）や導電性の金属などが含まれている環境へも設  
置しないでください。装置内部のプリント板が腐食  
し、故障および発煙や発火の原因となるおそれがあ  
ります。

 塩害を受ける環境へ設置・保管しない  
船舶・港湾設備や海岸地帯など、塩害を受ける環境  
への設置または保管しないでください。ほこりや空  
気に含まれる腐食を促進する成分により、装置お  
よび装置内部が酸化や腐食し、故障および発煙や発  
火の原因となるおそれがあります。

 結露について  
輸送後等に本装置の温度が低いまま、室温の高い部  
屋に持ち込んで場合などに内部や外部に結露し  
ショートの原因があります。表面が湿っている場合  
には、しばらく放置し温度をなじませ、よく乾燥さ  
せてからご使用ください。

## 消耗品取り扱い上の注意

### 警告


 消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管して  
ください。

## 規制について

### ■ コピー機

本製品は、電波法による総務省高周波利用設備型式指定を  
受けております。

### 警告


 本製品から微弱な電磁波が出ています。植込み型医  
療機器（ペースメーカー等）を装着されている方  
で、体調に何らかの変化があると感じたときは、本  
製品からただちに離れ、医師にご相談ください。

### 電磁波障害対策自主規制について


この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で  
使用することを目的としています。この装置がラジオや  
テレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を  
引き起こすことがあります。マニュアルに従って正しい取  
り扱いをしてください。

VCCI-B

### 注意

 EMI基準への適合を維持するため、本機にはかなら  
ずシールドタイプのケーブルを使用してください。

### 受信障害について

 ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツ  
キ、ゆがみが本機による影響と考えられる場合、本  
機の電源を切ってください。  
電源を切ることにより、ラジオやテレビなどが正常  
な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合  
わせて、障害を防止してください。

- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変える
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離す
- 本機とラジオやテレビ双方の電源を別系統のもの  
に変える
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変える（アン  
テナが屋外にある場合は、電気店にご相談くださ  
い）
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変  
える

### 高調波自主規制について

本機器はJIS C 61000-3-2（高調波電流発生限度値）に適  
合しています。

## ■ パソコン / ディスプレイ / 写真プリンター / 領収書プリンター

### ⚠ 警告

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本機は、日本国内でのみ使用できます。
- 本機は工事設計認証を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  - 本機を分解 / 改造すること
  - 本機の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
- 産業・化学・医療用機器
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
  - ① 構内無線局 (免許を要する無線局)
  - ② 特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)

次のような機器や無線局の近くでは使用しないでください。

- ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
  - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局)
  - 特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)
- 本機の無線チャンネルは上記の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。そのため、電波の干渉が発生し、通信ができなくなったり、通信速度が遅くなったりするおそれがあります。
- 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、ただちに使用周波数を変更する、または電波の発射を中止したうえ、弊社の故障受付センターにお問い合わせください。
  - その他、本機から電波干渉の事例が発生した場合など、お困りのときは、弊社の故障受付センターにお問い合わせください。

- 埋込み型心臓ペースメーカー、および埋込み型除細動器を装着されている場合は、本機、または本機のワイヤレスカードシステムのリーダーライター部 (アンテナ部) から 12 cm 以上離れて携行および使用してください。

電波により埋込み型心臓ペースメーカー、および埋込み型除細動器の動作に影響を与える場合があります。

- 埋込み型心臓ペースメーカー、および埋込み型除細動器以外の医用電気機器を本機の近傍で使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器などの動作に影響を与える場合があります。

- 航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本機の設置および使用は許されません。電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす場合があります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内などの使用を禁止されている場所で本機を使用した場合、法令により罰せられる場合があります。

- 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室 (ICU)、冠状動脈疾患監視病室 (CCU) には本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機を使用しないでください。
- ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、本機を使用しないでください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

### 無線 LAN 使用時のセキュリティに関するご注意

<https://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=788&ca=1>

### 電磁波障害対策自主規制について

本機は、クラス A 機器です。本機を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

### ⚠ 注意

- EMI 基準への適合を維持するため、本機にはかならずシールドタイプのケーブルを使用してください。

### 受信障害について

- ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみが本機による影響と考えられる場合、本機の電源を切ってください。電源を切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせ、障害を防止してください。
  - 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変える
  - 本機とラジオやテレビ双方の距離を離す
  - 本機とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変える
  - 受信アンテナやアンテナ線の配置を変える (アンテナが屋外にある場合は、電気店にご相談ください)
  - ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変える

### 高調波自主規制について

本機器は JIS C 61000-3-2 (高調波電流発生限度値) に適合しています。

# SDS (安全データシート) の提供について

「労働安全衛生法」及び又は「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(PRTR法)に基づき、本機用消耗品のSDSを以下の通り提供いたします。

また、SDSは弊社ホームページにおいても公開しています。

1/4

## 安全データシート

整理番号 : RT139GNJ09

作成日 : 2022/09/28

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ApeosStation C3551 KT  
供給者の会社名称、住所及び電話番号 : 富士フイルムビジネスソリューション株式会社  
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-7-3  
046-237-1686  
供給者のファクシミリ番号又はe-mailアドレス : [e-mail アドレス] dge-fb-msds-admin@fujifilm.com  
担当部門 : 品質保証部 環境商品安全統括 G

### 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類 : 本製品は、GHS 分類基準上、危険有害性のある混合物には分類されない。

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物  
成分および及び濃度又は濃度範囲 :

化学名又は一般名	含有量(重量%)				官報公示 整理番号 化審法/安衛法	CAS Registry No.
	ブラック トナー	シアン トナー	マゼンタ トナー	イエロー トナー		
ポリエステル樹脂	<90	<90	<90	<90	非開示	非開示
酸化鉄(フェライトとして)	10-20	<10	<10	<10	1-357	1309-37-1
酸化マンガン(フェライトとして)	3.6	2.5	2.5	2.5	1-475	1344-43-0
パラフィンワックス	<10	<10	<10	<10	8-430	8002-74-2
カーボンブラック	<10	<10	<10	<10	非該当	1333-86-4
青色顔料	<10	<10	-	-	5-3299	147-14-8
赤色顔料	-	-	<10	-	非開示	非開示
黄色顔料	-	-	-	<10	非開示	非開示
無定形シリカ	<10	<10	<10	<10	1-548	7631-86-9
二酸化チタン	<1	<1	<1	<1	1-558	13463-67-7

処方成分として、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル類(PBB 類)、ポリ臭化ジフェニルエーテル類(PBDE 類)、フタル酸ビス 2-エチルヘキシル (DEHP)、ブチルベンジルフタレート(BBP)、ジブチルフタレート(DBP)、およびジイソブチルフタレート(DIBP)を含有しない

### 4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のところへ移す。多量の水でよくうがいをする。  
皮膚に付着した場合 : 石鹸を使って水でよく洗い流す。  
眼に入った場合 : 15分以上多量の水で洗い流した後、医師の診察を受ける。  
飲み込んだ場合 : 水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲ませる。医師の診察を受ける。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 噴霧水、泡、粉末消火薬剤。ただし、機械内で燃焼した際には、電気製品における火災と同様の方法で消火する。  
使ってはならない消火剤 : 情報なし

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 吸入はできるかぎり避ける。大量にこぼした場合は、必ず当社係員にご連絡ください。  
環境に対する注意事項 : 下水道や河川への漏出を防ぐ。



封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 周囲に火種がないことを確認する。少量の場合はほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布等で拭き取る。大量にこぼした場合は、必ず当社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。  
こぼれた製品は電気掃除機で吸い取らないこと。(掃除機を用いると微粒子が掃除機内部に充満し、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがある)

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。  
安全取扱い注意事項 : 火中に絶対に投げない。カートリッジをこわしたり、分解したりしない。  
接触回避 : 特になし

### 保管

安全な保管条件 : 直射日光を避け、乾燥した換気のよいところに、低温で保管する。子供の手の届くところに保管しない。  
安全な容器包装材料 : 当社の容器包装材料を使用すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等 : 日本産業衛生学会 第3種粉塵 8 mg/m<sup>3</sup> (総粉塵)  
(2021年版) 2 mg/m<sup>3</sup> (吸入性粉塵)  
ACGIH(2021年版) 粒子状物質 10 mg/m<sup>3</sup> (総粉塵)  
3 mg/m<sup>3</sup> (吸入性粉塵)

設備対策 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。  
保護具 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。  
呼吸用保護具 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。  
手の保護具 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。  
眼、顔面の保護具 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。  
皮膚及び身体の保護具 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 粉体  
色 : ブラックトナー: 黒色、シアントナー: 青色、マゼンタトナー: 赤色、イエロートナー: 黄色  
臭い : 微かなプラスチック臭  
融点/凝固点 : データなし  
沸点又は初留点及び沸騰範囲 : 適用外  
可燃性 : 15項参照  
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし  
引火点 : 適用外  
自然発火点 : 発火性なし  
分解温度 : データなし  
pH : データなし  
動粘性率 : 適用外  
溶解度 : 不溶(水)  
n-オクタノール/水分分配係数(log) : 適用外  
蒸気圧 : 適用外  
密度及び/又は相対密度 : 適用外  
相対ガス密度 : データなし  
粒子特性 : <12µm(トナーとして)  
その他のデータ : データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	：	安定
化学的安全性	：	安定
危険有害反応可能性	：	可能性なし
避けるべき条件	：	特になし
混触危険物質	：	特になし
危険有害な分解生成物	：	情報なし

## 11. 有害性情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

急性毒性（50%致死量）

経口→LD50(ラット) ； >2000 mg/kg (GHS 区分に該当しない)(印字成分)

皮膚刺激性(ラビット) ； 刺激性なし

皮膚腐食性 ； 腐食性なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性(ラビット) ； イエロートナー：軽度の刺激(印字成分)、ブラクトナー/マゼンタナー/シアントナー：最小の刺激(印字成分)

呼吸器感作性又は皮膚感作性(マウスまたはモルモット) ； 皮膚感作性なし

生殖細胞変異原性 ； AMES 試験 陰性

発がん性 ； カーボンブラックは、国際がん研究機関(IARC)によって"グループ 2B(ヒトに対して発がん性があるかもしれない)"に分類される。しかし、カーボンブラックを含有するトナーに対するラットの長期吸入暴露試験では、「発がんの証拠なし」の結論を得ている。

二酸化チタンは国際がん研究機関(IARC)の発がん性分類で、グループ 2B に分類される。動物実験では、ラットのみ肺腫瘍が認められた。これは、ラットの肺クリアランスメカニズムの過負荷(オーバーロード現象)によるもので、本製品の通常使用時にはあり得ないと推察される。呼吸器の疾病と二酸化チタンの作業暴露との関係は、これまでの疫学調査で認められなかった。

なお、カーボンブラックおよび二酸化チタン以外の構成成分は発がん物質(文献1)に該当しない。

生殖毒性 ； 生殖毒性及び発生毒性物質(文献2)を含有せず。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) ； データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露) ； ラットを用いた2年間にわたるトナー吸入暴露試験において、毎日、中用量(4 mg/m<sup>3</sup>)もしくは高用量(16 mg/m<sup>3</sup>)の暴露環境にさらされていた群で、肺に軽度の線維症が観察されたが、低用量(1 mg/m<sup>3</sup>)の群については、肺に特別な変化は認められなかった。当社商品の通常の使用に伴って排出されるトナー量は、1日当たり1mg/m<sup>3</sup>を大幅に下回っており、製品を日常的に使用する限りでは人体への影響はないと判断している(文献3)。

誤えん有害性 ； 対象外

その他 ； データなし

## 12. 環境影響情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

生態毒性

急性毒性 魚類 96 時間 LL50(ヒメダカ) ； > 500mg/L(GHS 区分に該当しない)(印字成分)

ミジンコ類 48 時間 EL50(オオミジンコ) ； > 100mg/L(GHS 区分に該当しない)(印字成分)

藻類 72 時間 ErL50(ムレミカツキモ) ； > 100mg/L(GHS 区分に該当しない)(印字成分)

残留性・分解性 ； データなし

生体蓄積性 ； データなし

土壌中の移動性 ； データなし

ApeosStation C3551 KT 富士フイルムビジネスソリューション株式会社  
RT139GNJ09

作成日：2022/09/28

オゾン層への有害性 : データなし  
他の有害影響 : データなし

### 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報：  
適切な処理が必要なので、必ず当社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店に渡すこと。

### 14. 輸送上の注意

国連番号 : 非該当  
海洋汚染物質 : 非該当  
MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 : 非該当  
国内規制がある場合の規制情報 : 非該当

### 15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法) : 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)マンガン及びその化合物(政令番号:412)マンガンとして(ブラクトナー:2.8%、シアントナー:1.9%、イエロートナー:1.9%、マゼンタナー1.9%)

労働安全衛生法 : 特定化学物質第2類物質、管理第2類物質(特定化学物質障害予防規則第2条第1項第2.5号)  
名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9)  
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9)  
ブラクトナー:カーボンブラック(政令番号:130)、固形パラフィン(政令番号:170)、酸化チタン(IV)(政令番号:191)、酸化鉄(政令番号:192)、ブラクトナー/シアントナー:銅及びその化合物(政令番号:379)、マンガン及びその無機化合物(政令番号:550)

化審法 : 非該当  
毒物及び劇物取締法 : 非該当  
消防法 : 指定可燃物(ただし、合成樹脂類:3000kg以上)

### 16. その他の情報

本製品安全データシートは現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、構成成分やデータ・評価内容を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには十分ご注意ください。また、内容を当社の許可なく一方的に改定・使用され、何らかの事故が発生した場合は、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

CAS Registry Number(R) is a Registered Trademark of the American Chemical Society.

#### 引用文献

- (文献1) : ・IARC Monographs on the Evaluation of the Carcinogenic Risks to Humans (WHO.IARC:国際癌研究機関)  
・National Toxicology Program(NTP) Report on Carcinogens (NTP:米国・国家毒性プログラム)  
・TLVs and BEIs (ACGIH:米国・政府産業衛生専門家会議)  
・物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則(EC) No1907/2006 を改正することに関する規則(EC)No1272/2008(CLP 規則)  
・日本産業衛生学雑誌(日本産業衛生学会)
- (文献2) : ・物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則(EC) No1907/2006 を改正することに関する規則(EC)No1272/2008(CLP 規則)
- (文献3) : ・Pulmonary Response to Toner upon Chronic Inhalation Exposure in Rats  
H.Muhle et.al Fundamental and Applied Toxicology 17.280-299(1991)  
・Lung Clearance and Retention of Toner, Utilizing a Tracer Technique, during Chronic Inhalation Exposure in Rats  
B.Bellmann Fundamental and Applied Toxicology 17.300-313(1991)





# 保守・操作・修理（内容・期間・費用など）のお問い合わせ、消耗品のご注文

保守・操作・修理のお問い合わせ、消耗品のご注文は、機械本体に貼り付けのカードやシールに記載の電話番号にご連絡ください。

## ●ご意見やご相談の受付窓口

お客様相談センター

電話：0120-27-4100 (通話料無料)

FAX：0120-05-5035 (通話料無料)

土、日、祝日および弊社指定休業日を除く  
9時～12時、13時～17時

フリーダイヤルは、海外からはご利用いただけません。  
また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。  
お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

## ソフトウェアの使用許諾について

同梱メディアを皆様にご提供するに当たり、下記の「ご使用条件」にご同意いただくことを、提供の条件とさせていただきますので、パッケージを開封される前に下記の「ご使用条件」を必ずお読みください。なお、皆様がパッケージを開封された場合には、本「ご使用条件」にご同意いただいたものとしますので、万が一ご同意いただけない場合には、ご使用されませんようご注意ください。

### ご使用条件

- 弊社は、このメディアで提供する情報について、内容や正確性・安全性などについては商品性および特定の使用目的への適合性についての保証を含め、黙示的にも明示的にもいかなる保証もいたしません。
- このメディアで提供する情報の著作権は弊社に帰属します。
- メディアの内容を金銭の授受の如何を問わず第三者のためにまたは第三者に対し、複製、加工、販売、出版、閲覧、公開することはできません。

### 免責事項について

弊社は、使用者がこのソフトウェアを使用することによって発生した、直接的、間接的もしくは波及効果による損害、データ・プログラムその他無体財産に対する損害、使用利益および得べかりし利益の損失等に対して一切の責任も負わないものとします。

日本語変換は、オムロンソフトウェア（株）のcompact Wnnを使用しています。  
compact Wnn (C) OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2012-2013 All Rights Reserved.